考えて考えて考えろたった一回の人生を

小学校、中学校となんとなく行き、ある程度の成績をとり良い高校、良い大学、を卒業していくんだな～と思っていた自分。そして良い成績、結果をださないと周りの人たちから変な目で見られその圧力で体を壊す自分。そんな生活をしていた僕がこの愛農という自分の道を広げることができる場所を自分が選び、そしてこの地に立っている。そしてこの二年半で自分が得たこと考えたこと大切な人、関わってきた人、そんなもの、人、ことなどがあり今の自分がある。だから今日は、自分の脳内をさらけ出そうと思う。

やりたいこと、なりたい職業、夢について、って聞かれて、考える、で心のそこかなりたことがないのにうわっつらなことをいう。この職業つきたいな～とか。僕は、心の底からこんなふうになりたいとか夢とかって探して見つかるもんじゃないと思う。自分探しの旅とか僕は、よくわからん。自分の手で試してみた結果、「これ楽しい」「好きだ」って思うから熱中する。はじめから「これを好きになりたいからなる」なんて難しいと思う。例えばタピオカとか実際に飲んでみておいしかったから好きになる。「タピオカ好きにならなきゃ」っと思って好きになる人は何か違和感がある。夢に挑戦する前から冷静に考えすぎだと思う。考えて探して、それで見つかる夢なんて、僕から言わせたら夢じゃない。なんでも興味をもったことをがむしゃらにやってみる。やってみて違ったらまた新しいほかのことをすればいいし、逆にそれが本当に熱中できることやったら、そこからつながる夢がみえるかもしれない。がむしゃらにやって人からどう思われているやろうとか人の目線気にしすぎだと思う。仮に誰かに嫌われてると分かってもそれは、そいつの評価そいつは自分の夢は、かなえてくれんと思う。他人と比べて「夢がある人っていいな～」とか「夢がないとやばい！」って思ってる時点で他人のことを意識しすぎだと思う。だから自分でやりたいって思ったら、それが本当にやりたいことだと思う。本当に単純でいいと思う。だっておなかすいたらご飯食べるでしょ。それで「美味しい」「まずい」ってわけていって、もしかしたらその中に「初めて食べたけどめっちゃ美味しい！」っておもうものがあるかもしれない。だから何かを好きになろうと思ってご飯食べに行く人はいない。おなかすいたから食べに行くだけ。それと同じ、人生に対して、もっと本能的にお腹すかせてみればいいと思う。僕の心をうずうずさせる「島暮らし」という夢。夢を持つことでそこから「この夢をかなえるためにはまず何が必要なのか」って頭使えばいいと思う。どんな夢を持つのか、自分に何ができるのかもわかっていない段階で考え込んでも仕方ないと思う。必要な素材がまだそろってないのに「あれやってみたいな～。でもなー、こわいなー」とか。迷ってるなら動かないと。僕が思うに「お金持ちになりたい」とか「日本一の農家になる」とかざっくりした夢でもいいと思う。大事なのは、今とるべき行動まで分解すること。目的地のない状態では、どの電車に乗ればいいか、そもそも電車に乗らなきゃいけないのかわからない。だからまずは直感を信じて電車に乗る。そして乗った電車で人生計画を立てゴールまで行く。目指す場所が定まったなら手足を動かしながら同時に頭も動かす。でも「島暮らし」はゴールじゃない。きっかけの一つ。だから味方につければ強い。愛農生活、授業も同じ。愛農というネットを利用すればきっと自分の進みたい道を指してくれる。ぼくは、教科書のない人生を送りたいと思ってる。それは、どういうことかと言うとよい高校、良い大学を出て安定した会社に入るって言うのだったり人がやったことあるものを自分が同じようにやったりすること。多分誰だってその教科書、参考書がないことに挑戦しようとはあまり自分からできない。だって何か始めようとすると、まずそれについての教科書、参考書を探したり、スマホ、ネットで調べる。それだと誰かの後追いの道しか進めないと思う。でもぼくは、あの人がやってるから、ではなく、上手だなと思ったやり方をノウハウとして頭の中に蓄積していき、後々「あの人があの動きしてたのはこういう狙いだったんだ」って理解する。やり方だけを教えてもらうよりも自分なりに考えて見つけたほうが絶対に身になる。それを繰り返し、自分なりの教科書を作りたい。僕が島暮らしという夢を持った理由の一つに自然がある。僕の地元は山に囲まれていて海がない。海は僕が好きな自然の一つだ。海は魚がいてサーフィン、ダイビング、マリンスポーツなどができる。そんな海と山に囲まれたところ。それが島だ。そして島は本土とのかかわりが少なく。流行りも少なくなる。そうなると社会に追われることが少なくなる。自分が社会のために費やしてきた時間を本土から少し離れていて流行りなども少ない島で過ごす。その時間を島では自分のやりたいことしたいことに使うそんなことができる島に僕はあこがれ、魅力を感じた。そして島は愛農に似ていると思う。愛農はネットや流行りに触れるのが少なく、人が人らしく、自分が自分らしくいられる場所。それが愛農高校。島暮らしと愛農は似ている。だからぼくは愛農が好きなんだな～と思う

最後に僕は、いろんな人、物と関わることで安定したルートだけを見ていた自分が自分でもびっくりするぐらい変わったと思うし、人と関わることの大切さをこの愛農という場で感じられたことめっちゃ感謝してる。あと残りの愛農生活をがむしゃらで生き、ジコチューで行きたい。そして、同期、後輩、先生などいろんな人の心に残る人間であり男でありたい。僕の大好きな人の言葉を送って終わろうと思う

「体力には、限界があるけど精神には、限界なし」